



はがきでペン優秀作品

| | | | | | | | | |
|----|----|----|----|----|---|---|---|---|
| 三年 | 武居 | 知佐 | 犬の | さん | ぼ | ぎ | ぼ | つ |
| | | | て | は | だ | め | か | わ |
| | | | う | で | し | よ | は | ん |
| | | | ざ | る | で | す | よ | |
| | | | | | | | | |

小3 武居知佐

のびのびと大きく書き全体のまとまりも良い。

| | | | | | | | | |
|----|----|----|----|----|---|---|----|---|
| 一年 | 齋藤 | 優羽 | 我が | 家 | で | は | 年 | 越 |
| | | | ば | を | 食 | べ | な | が |
| | | | の | 反 | 省 | 会 | 。僕 | は |
| | | | り | 。サ | ツ | カ | ー | の |
| | | | に | な | っ | た | か | ら |
| | | | | | | | | |

中1 齋藤優羽

全ての点画の最後まで集中して書き、美しい。

佳作以上に「書作名人筆」さしあげます

審査担当

金子榮風先生

くに
よゆうたとうしあり

かくときしのせいやふでのかくどがただしいので、すべてのせんがふとくしつかりとかけ、もじのなかながれもみえる。

佐藤史織 幼年 2級

くに
いねん ながやらな

大きなかまえでのびやかにかけました。名まえもふくめて、せんをかくスピードがちょうどよいので文字がとでもきれい。

長屋蘭奈 小1 6級

手
にんこうとうあいり

一文字として少し大きいですが、ハネやハラ、線のはじまりなどをすべてでいねいに書けた。バランスもよくりっぱです。

厚東愛梨 小2 2級

か友
おの
三年 西山真陽琉

「友」の形、線が特にすばらしい。四文字ともむずかしいかだが、大きさも場所もよく考えられ全体をうまくまとめた。

西山真陽琉 小3 1級

方位
四年二段池田めい

同じ方向の線の太さをうまく変えて書き成功している。画数の少ない二文字の中で、太くいさおひのある線がすばらしい。

池田めい 小4 2段

明顔
五年 萩原悠衣

みんなが苦労した「顔」だが、とても整って美しい。「月」や「ひらがな」を太くして四文字をバランスよくきれいにまとめた。

萩原悠衣 小5 準4

集合
六年 齋藤愛子

左右のハライがのびやかに書けて美しい。最後までリズム良く書き進め、特に名前も一画ずつ心が込められ、輝いています。

齋藤愛子 小6 4段

学級
委員
中一 折原由菜

高い集中力を持ちながら書かれた姿が一点一画から想像できます。全くスキがなく四文字が整然と並び、線が澄んでいる。

折原由菜 中1 準6

規律ある行動
中二 石川七愛

楷書を書く時にもリズムが大切だと感じさせる作品。太くて強い線を、しっかりと止まってから書き始めたので特に良い。

石川七愛 中2 準6

規律ある行動
中三 中村結香

太細の線を巧みに使い分けてうまく強弱をつけた。特に横画を細く書き、文字の中に白い部分が多く明るい作品となった。

中村結香 中3 準7

十二月十二日締め切り

最優秀作品

金子高遠選評

